

宮農部営農支援課 南部エリア春日部地区担当TACの稲山です。

今年度よりTACとして農作物の栽培、生産資材、農業融資のご相談などを中心に活動させていただきます。

ここで、今後さらなる拡大が見込まれる業務用多収米（ほしじるし・とよめき）をご紹介します。業務用多収米は、全国のメーカー等から取引要望があり、お寿司やチャーハンなどに使用され、需要が高まっており、契約栽培という方式で、栽培前に単価を決めて取組み、収量が反収約600kg以上と安定していることから、農業経営の安定化を考え取組む生産者が増えています。（JA南彩では、面積32ha、30名の方に作付けしていただいています）米の需要については、高齢化や食の多様化により年間8万トンずつ減り続ける中で、今後はますます需要に応じた米づくりが重要となっています。業務用多収米の他に、新規需要米（飼料用米・米粉用米・加工用米）など予め収入の見通しが立ち、経営所得を安定させるための取組みもございしますので、興味のある方は是非ご相談ください。

また、加工用業務野菜や青パパイヤの普及に取り組んでいますので、お気軽にお声かけください。皆さんのお力になれるTACを目指し努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。